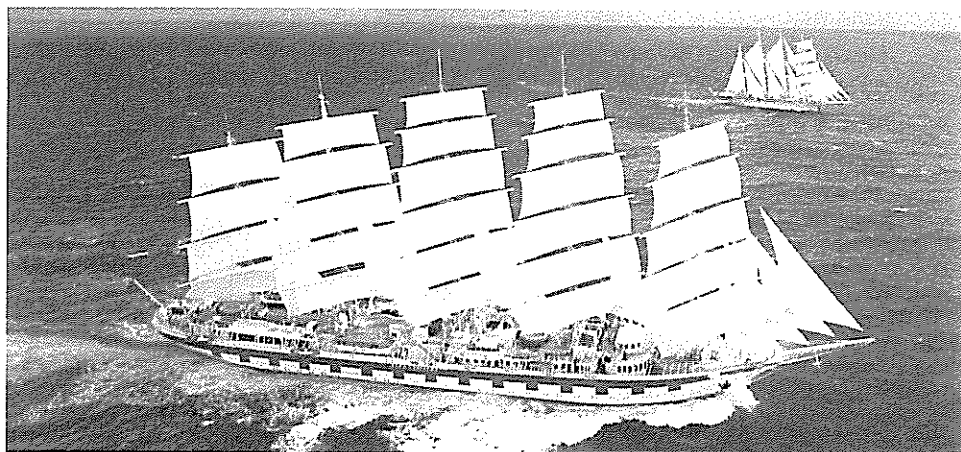


スター・クリッパーズ

山田 勉生 (日本海事史学会理事)

並走するロイヤル・クリッパー Royal Clipper (手前) とスター・フライヤー Star Flyer 級の一隻。(STAR CLIPPERS)



WORLD'S CRUISE OPERATORS ⑦ — STAR CLIPPERS by Michio Yamada

スター・クリッパーズは、帆走クルーズ船を運航するクルーズ・オペレーターである。

創業は1991年と新しい。創立者はスウェーデン出身のミカエル・クラフト (Mikael Krafft)。ヨットマンのクラフトは、90年代に3隻の帆走クルーズ船を新造し、モナコを本拠に、地中海、カリブ海、東南アジア海域でユニークなクルーズを展開している。

「プライベート・ヨットで大海原を航海する素晴らしいを、多くの人々に体験してもらいたい。しかも、リーズナブルな乗船料金で」。こうしたコンセプトで誕生した3隻は、伝統的な人力操帆による帆走クルーズ船である。いつとき流行したコンピューター操帆ではない。

クラフトが提案したクルーズは、海のロマンと神秘を求め、大自然と一体になった航海を望む船旅愛好家の間で高く評価されている。リゾート感覚が過剰な現代クルーズとは好対照をなすクルーズといえよう。

スター・フライヤーとスター・クリッパー

スター・クリッパーズの歴史は、クラフトがベルギーにホワイト・スター・グループを設立し、ゲント (ベルギー) のランゲルブルッヘ造船所に帆走クルーズ船2隻を発注したことに始まる。これがスター・フライヤー Star Flyer と同型船スター・クリッパー Star Clipper で、発注したのは1989年だった。

4本マスト、バーケンティン型。帆は16枚で、ダク

ロン製。総帆面積は3,365平方メートル。補助としてディーゼル機関と可変ピッチ・プロペラを装備し、帆走状況に応じて運転調整できるようになっている。

船客定員は170人、乗組員数は70人。船籍はルクセンブルクで、ロイズ船級協会の100A1の資格を持っている。帆船としては1911年以来のことだという。

第1船スター・フライヤーが完成したのは91年5月。コロンブスのルートをたどる大西洋横断航海で盛り上げた後、地中海 (夏季) とカリブ海 (冬季) の定期クルーズに張り付いた。相前後して、運航と営業に当たるスター・クリッパーズがマイアミに設立された。

翌92年4月には、第2船スター・クリッパーが竣工。2隻体制になってバラエティーに富むクルーズが可能になった。7泊クルーズが基本で、発着港は地中海がモナコとニース、カリブ海がセント・マーティンとアンティグア。これらは世界中のヨットマンがあこがれる母港である。現在はS.フライヤーがエーゲ海とマラッカ海峡、S.クリッパーが地中海とカリブ海をクルーズしている。

国際的なヨットマンが運航するクルーズ

スター・クリッパーズのオーナーでありCEOであるクラフトは、1946年にストックホルムで生まれた。生家の周囲にはヨット・メーカーが多く、造船所の仕事を手伝い、老人が語る海の話に親しむ少年時代であったという。10歳の時、早くもバルト海でヨットを操った。

スター・クリッパーズ 客船一覧

注) 1. 船客定員はlower beds (下段ベッド) の基準数。2. 推進機関のDはディーゼル。

船名	竣工年	総トン数	船客定員	推進機関	建造所	備考
Star Flyer	1991	2,298	170	D	Langerbrugge Yard	4本マスト、バーケンティン型帆船
Star Clipper	1992	2,298	170	D	Langerbrugge Yard	Star Flyer と同型
Royal Clipper	2000	5,061	227	D	Merwede Shipyard	5本マスト、シップ型帆船

大学で海事法を学んだクラフトは、70年代に小さな船会社の経営を引き受けて成功した。86年には妻と二人の子供を連れてブリュッセルに移住し、前述のホワイト・スター・グループを立ち上げた。彼はこの時期に、長さ39メートルのスクーター、グローリア Gloria を操船し、国際的なヨットマンとしての評価を得ている。

経営者がこうだから、同社の船に乗ると海に親しむ毎日になる。船客はセット・セイルやマスト・クライミングなど、帆船ならではの行事に参加できる。

船客の平均年齢は45歳。最近では発見航海、ジャズとブルース、といったテーマ・クルーズも企画しており、20～30代が主体の航海もあるようだ。国別ではアメリカとカナダからの船客が多く、ほぼ半数を占める。残りの半数はヨーロッパ船客で、特にドイツ人が多い。船客の60パーセントはリピーターである。

クラフトの家族も帆船が大好きだ。現在のフラッグシップ、ロイヤル・クリッパー Royal Clipper の船首像は、娘マリーの上半身がモデルになっている。同船はドイツの有名帆船プロイセン Preussen (5,081 総トン、1902 年建造) からイメージを得て建造されたものだが、プロイセンには船首像は付いていなかった。

世界最大の帆船ロイヤル・クリッパー

5本マスト、シップ型帆船のロイヤル・クリッパーがデビューしたのは2000年7月である。この船の登場によって、クラフトのクルーズは一躍メジャーになった。

現役では世界最大の帆船である同船は、ロッテルダムのメルウェーデ造船所で竣工した。ただし、船体はグダニスクのセナル・ヤードで造られた。完成した船体をキール運河経由でメルウェーデ川まで曳航し、そこで内装と帆装を施したのである。

93年からIHCグループの傘下にあるメルウェーデ造船所は、100年の歴史を持つ老舗で、かつて来日したHALの先代プリンセンダム Prinsendam (8,566 総トン、



スター・クリッパーズを設立したヨットマンのM.クラフト(左)と自分の娘をモデルにしたロイヤル・クリッパーの船首像。(STAR CLIPPERS)

1973年竣工)やハウステンボスの威臨丸は、ここで建造された。同系列のIHCヤード(キンデルダイク)の前身F.スミット造船所では、幕末に本物の威臨丸が誕生している。

帆は42枚(横帆26, ステイスル11, ジブ4, スパンカー1)。総帆面積は5,000平方メートル。106人の乗組員のうち、20人が展帆作業に従事する。

通常は帆走が主体であるが、補助としてディーゼル機関2基(1軸)を搭載している。順風だと20ノット出るといふ。S.フライヤー級と同様、船籍はルクセンブルクで、ロイズの100A1の資格を持つ。

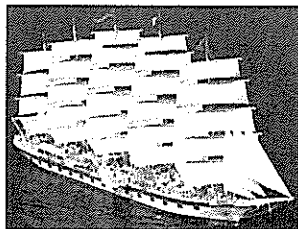
船客定員は227人。客室はすべてバス(またはシャワー)、トイレ付きで、広さは14平方メートル(標準的な客室)で、大型船の客室サイズと変わらない。

公室で圧巻なのは3デッキ構造の壮大なアトリウム。最下層はダイニングルームになっており、とても5,000トンの小型船には見えない。艦装とインテリアを担当したのは、ロンドンのヨット・デザイナー、ドナルド・スターキー(Donald Starkey)。20世紀初頭のエドワード7世時代の華やかなデザインでまとめている。

就航海域は、夏季が地中海で、チビタベッキアを発着する7泊クルーズ。冬季(10～4月)はカリブ海にシフトし、バルバドス基点の7泊クルーズに就航している。乗船料金は標準的な客室で2,000ドル前後。内側客室だと1,500ドル前後。クラフトの手づくりのクルーズが、1泊当たり300ドル以下で楽しめる。

欧米には、こうしたクルーズが成立する土壤がある。船旅文化の奥の深さを感じざるをえない。

STAR CLIPPERS



風と波を身近に感じる
ロマンあふれるクルーズ…
スター・クリッパーズは
3隻の大型帆船を運航しています
魅力的な帆船の旅をどうぞ

「お客様に安心して楽しみたいだけの旅の手配」
がメリディアン・ジャパンのモットーです。

日本地区総代理店 株式会社 メリディアン・ジャパン

東京都知事登録旅行業第3-4737号 〒105-0013 東京都港区浜松町1-16-11 宝ビル2F Tel.03-5405-1442 Fax.03-5405-1444

Golden Star Cruises

ゴールデン・スター・クルーズは
皆様を魅力あふれるエーゲ海の島々へご案内します。

